

第 18 回 彩都東部地区検討会 議事録

○と き：平成 27 年 2 月 10 日（火）16 時～18 時

○ところ：彩都建設推進協議会 会議室

○出席者：井出理事（大阪府）、中岡理事（茨木市）、佐水部長（(独)都市再生機構）、
松本部長（阪急不動産株）、藤田部長（三井物産株）、瓦谷部長（関電不動産株）
事務局：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

【議事概要】

1. 先行地区の検討状況について

検討会の結果

○事務局よりワーキンググループで検討した「平成 42 年の将来交通量推計」及び「先行 2 地区の施行予定者が自主的に実施された環境影響調査」の内容を報告し、それぞれの内容について確認した。（資料 1-1、資料 1-2）

○茨木市より、1 月 29 日及び 2 月 3 日開催の茨木市都市計画審議会での説明内容及び先行 2 地区の都市計画変更案が承認されたことが報告された。ただし、審議会では以下の付帯意見が付されており、その内容を尊重して先行 2 地区の事業と残り地区の検討を進めていくことを確認した。

（資料 1-3、資料 1-4、資料 1-5）

（付帯意見）

- ・彩都東部地区の全体計画と整合性のある土地利用を進めること。
- ・中央東地区及び山麓線周辺地区の事業化にあたっては、周辺環境や交通状況への影響に十分配慮するとともに、周辺住民等への説明を丁寧に行うこと。

2. 東部地区のまちづくりの検討状況について

検討会の結果

○事務局より、残地区のまちづくり検討の取組状況の報告を行った。その際、具体的な土地利用については「軸になる考えをしっかりと持ったうえで、地域特性や社会経済情勢なども踏まえた新しい視点から見た検討も加えていく必要がある」との指摘がなされた。

○残地区のまちづくりについては引き続き事業化に向けた検討を進めていくことを確認した。

3. その他

○次回検討会については別途日程調整のうえ、開催する予定。

（以上）